

氏名 (カナ氏名)	川村 颯 (カワムラアキラ)
主な担当科目	医療経済学専門研究セミナー 計量経済学専門研究セミナー 政策評価のための応用計量経済学 A 政策評価のための応用計量経済学 B
略歴および現在の活動 (社会的活動等含む)	大阪大学工学部卒業。大阪府立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了(修士(経済学))。筑波大学大学院システム情報工学研究科修了(博士(社会経済))。その後、財団法人勤務、本学政治経済学術院助教、筑波大学医学医療系研究員、本学政治経済学術院准教授を経て、2019年より現職。
専門分野	医療経済学、応用ミクロ計量経済学、地方財政



主な著書・論文、その他学生に読んでもらいたい本	<p>&lt;主な著書・論文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第12章医療システムの経済分析」(共著)、『シリーズ生命倫理学 17 巻医療制度・医療政策・医療経済』、2013年2月、丸善出版</li> <li>・”Evaluating remedial education in elementary schools: Administrative data from a municipality in Japan” (共著)、2019年6月、Japan and the World Economy, 50.</li> <li>・”Spillover Effect of Japanese Long-Term Care Insurance as an Employment Promotion Policy for Family Caregivers” (共著)、2017年12月、Journal of Health Economics, 56.</li> <li>・「全国介護レセプトを用いた経口移行者実態把握の試み」(共著)、2016年12月、厚生学の指標, 63(15).</li> <li>・“The relationship between raising a child with a disability and the mental health of mothers compared to raising a child without disability in Japan” (共著)、2016年12月、Elsevier, SSM - Population Health.</li> <li>・“Who has benefited from the health services system for the elderly in Japan?” (共著)、2009年8月、Elsevier, Japan and the World Economy.</li> <li>・「女性医師のキャリア選択ー病院/診療所選択の男女比較ー」、2009年1月、日本保健医療社会学会、保健医療社会学論集</li> </ul> <p>&lt;その他学生に読んでもらいたい本&gt;</p>
-------------------------	--

	<p>1. 「マンキュー経済学ミクロ編/マクロ編第4版」、N・グレゴリー・マンキュー、東洋経済新報社。</p> <p>2. 「ワセダ三畳青春記」、高野秀行、集英社文庫。</p> <p>論理的思考のツールとして経済学は非常に有用です。学部生時代に経済学を学んでいない学生がその考え方に親しむという意味では、本専攻の必修科目である「基礎経済学」の教科書でもある1は良い本です。講義のお供としてだけ購入するのはもったいない。ぜひ、「読み物」として読んでみてください。2は、本学関係者ではなかったときに私が想像していた「ワセダ」っぽさが余すところなく書かれています。学問的寄与はおそらくありませんので、勉学に疲れた時の気分転換に。</p>
<p>就職、その他キャリア形成に関するのアドバイス/手伝えること</p>	<p>医療/介護サービス市場における経済主体、または、地方団体の意思決定とその帰結を、データを用いて実証的に分析したい学生のサポート</p>